

JA YOUTH広島市 「農業を語る会」

20日

JA広島市管内の農業従事者で組織されるJA YOUTH広島市の盟友とJA広島市の役員ら44名が集い、農業を語る会を開きました。続いて開かれた懇親会では、親睦を深めるとともに、意見交換がされ大いに盛り上がりしました。



地産地消クッキング 中筋のシュンギク

13日

ANAクラウンプラザホテル広島の大森一憲シェフによる3月の地産地消クッキング教室では、安佐南区中筋の福島幸治さんが生産したシュンギクを食材に2品を作りました。当日は生産者の福島さんも参加者と交流いただき、生産物のPRをしていただきました。



広島菜の系統を守る カラシ菜除去

3日

安佐南区川内地区の広島菜栽培農家は、JA広島市や関係業者と協力し総勢100名が参加して、安佐大橋の両岸を各3kmにわたって、カラシ菜の除去作業を行いました。今年は低温の影響で、株が大きく生長していないものも多く、参加した生産者らは見逃すことのないよう丁寧に根から掘り起こして抜き取る作業を行いました。



新規就農支援金贈呈式

23日

JA広島市は、農業を生計の柱とするために就農した、就農時原則40歳未満の組合員を対象に、管内農業の担い手となって農業の発展に寄与してもらいたいとの思いから毎年支援金を贈呈しています。今年度は4名の新規就農者へ支援金を贈呈しました。



生き活き“え〜のう”塾 修了式

15日

北広島町の豊平研修センターで1年間、実践的に農業技術を学んできた川本文代さん、吉川明美さん、井上艶さんの3名が修了式を迎えました。将来の生産計画について発表を行い、今後目指す農業について目標を語り合いました。



NHK「ひるまえ産直市」 紫ミズナ販売

13日

鮮やかな紫色とシャキシャキした歯応え、ハーブのような風味が特徴の紫ミズナ。安佐南区沼田町吉山で紫ミズナを生産する宮脇啓造さんは、NHKの番組「ひるまえ直送便」内でPRしました。その色味からサンフレッチェ広島とコラボレーションし、売上の一部をサッカーを通じた青少年の健全育成に役立ててもらっています。



自己改革を学ぶ レディースクラブトップ研修会

1日

JA広島市レディースクラブは、女性総代、本部役員、各支部長の70名を対象に「トップ研修会」を開きました。森瀧健司郎JA広島中央会 教育・協同活動推進部長を講師に招き「自己改革と女性部の役割について」をテーマに学びました。



伝統野菜をPR 笹木三月子大根祭

3日

安佐南区の伝統野菜「笹木三月子大根」の収穫を祝う大根祭が安佐南区のJA広島市高長コミュニティホールで開催されました。笹木三月子大根をはじめとした地産新鮮野菜の販売のほか、安支店職員がついたもちなどを販売し、地域住民を中心としたおよそ200名の来場者でにぎわいました。



支店を拠点にふれあい活動

白木支店・三田支店・井原支店 相続セミナー

6日

白木支店・三田支店・井原支店は合同で法務講座を開催し、34名の組合員が農地の相続や贈与について学びました。



LC伴支部 寄せ植え講座

5日

LC可部支部の原口淳子支部長が講師を務める寄せ植え講座は、毎年実施する支部が増え、今年は6支部で開催し、約150名のLC会員が受講しました。伴支部でも14名が参加し、季節の花を使った寄せ植えを楽しみました。



LC三入支部 大学生と料理教室

14日

地域の食材を使って一緒に料理をしようと、レディースクラブからの働きかけで始まった、広島文教女子大学で食育を学ぶ学生と行う料理教室も今年で3回目。お互いに提案したメニューを作って交流を楽しみました。



地域の活性化とつながりを強化 緑井支店 新築オープン

12日

安佐南区の緑井支店は、組合員が利用しやすい施設づくりを目指して、新築オープンしました。オープニングイベントでは、地元とれたて野菜の販売やお米のすくい取り、小河原たまごのプレゼント、レディースクラブがぜんざいをふるまうなど、多くの組合員や地域の方々ににぎわいました。

